1969
9 月 号
No. 190
編集兼発行
鮫川村
総務課
塙町 佐藤印刷所

広報 さめがわ

9月の人口と世帯

人口 6,949(－4)
男 3,491(－9)
女 3,458(＋5)
世帯数1,232(0)

第二二回文化祭の構想成る
打合せ会で方針など決定

九月十六日に第一回の文化祭打合せ会を開き、今年も盛大に文化祭が開催されることになりました。

なお今年は、壮年ソフトボール大会、家庭バレーボール大会、駅伝競争等の体育行事は、文化祭の集中行事とは別に十月十日の「体育の日」に行うことになりました。

又従来の五部門制を体育レク部を厚生部に吸収して・総務部・産業部・学芸部・厚生部の四部門とし、充実した文化祭を執行することになりました。

期日・十一月二十一日。二十二日・二十三日（三日間）

文化祭役員

委員長（村長）石田卯子八
副委員長（農協組合長）藤田秀男
同〃（公民館長）大楽　勝男
会　計（収入役）前田　季男
総務部長（助役）須藤　英一
同　副（教育長）水野　義包
産業部長（農委会長）関根信正
同　副（商工会長）湯坐　伝
学芸部長（校長協議会長）山田文男
同　副（同副）　阿部　雅人
厚生部長（婦人会長）佐藤ヤス
同　副（農協婦人部長）水野つな

なお文化の日十一月三日には、同好者団体の主催、村の協力後援で（菊花展）「盆栽展」「古文書名刀展」などが計画され、香り高い文化の日の芬囲気をもりあげることになっております。



炎天の下、草地つくりに汗を流す若者。これがたくましき村の後継青年たちの姿です。

秋の全国交通安全運動

◉期間
十月　六日より
十月十五日まで（十日間）

交通安全運動は、人命尊重の見地から交通事故の防止の徹底、とくに歩行者の交通事故の絶滅を目標として、すべての歩行者、運転者、運転者の雇い主その他道路交通に関係のある者に交通安全思想の周知徹底を図り、正しい交通ルールの実践を習慣づけるため、毎年春と秋に実施しております。

◉運動の重点目標
一、正しい横断の励行と横断中の歩行者保護の徹底。
二、こどもと老令者の交通安全の確保。
三、飲酒運転の追放。

みんなの力で
無謀運転を追放
しましょう!!

子供の火あそびは親の不注意

子供の火あそび、石油コンロやプロパンガスの取扱には十分注意して下さい。



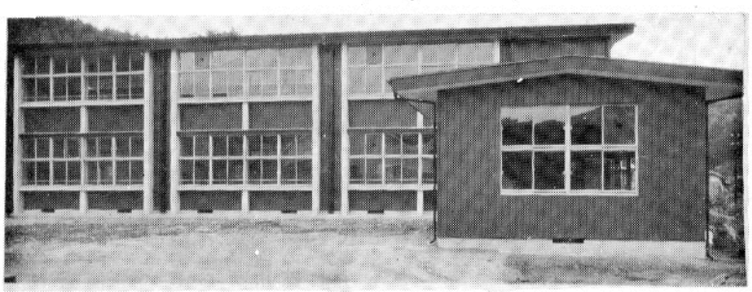
かくれた景勝の地、江竜田の滝で、芋煮会をたのしむ勤労青年学園の生徒さんたち。

最短期間の工事で青生野小学校舎完成す

今年の三月八日、青生野小学校校舎が不慮の火災で焼失したことは、まことに遺憾でありましたが、これが復旧については村民の皆様を初め村外からも広く心厚い御同情をいただき、短期完成を目ざして突貫工事が進められました。

限られた村財政のなかで、敷地は青生野中学校の用地内に造成し、五月七日に工事着工、八月十九日に完成というスピード工事で、モダンな鉄骨二階建の校舎が完成されました。

工事請負者は西白河郡東村近嵐工務所で、工事費は一千百三十万円。普通教室六、職員室一便所、物置等　面積計、四五二平方米。主体工事附属工事等復旧に要した総経費は、一千三百六十二万円となりました。



立派に完成した青生野小学校舎の全景

あすをひらく 青少年論文募集

福島県ではこのたびあすをひらく青少年のあるべき姿について、青少年自らが何を考え、何をしようとしているかについてそれぞれの立場から論じていただくための論文を募集しております。次の応募方法によつてふるつて出して下さい。

論文の課題
一、あすの福島県をひらくわれらの使命（義務教育修了後～25才までの者）
二、あすの福島県をひらく青年への期待（26才以上の者）

応募規定
一、一人一編
二、論文は四〇〇字詰原稿用紙（B四版）五枚～十枚以内
三、作品の初めに、住所、氏名、性別、生年月日、職業を明記すること。
四、宛先　福島市杉妻町二の一六　福島県県民室
五、締切期日
昭和四十四年十月十一日

これからはいそがしい日々が続きます
『火の元戸締りを厳守に!!』

おめでた

八月
内ヶ竜　蛭田マチ子父四一
小名沢　湯坐　直美〃孝友
内ヶ竜　蛭田　未夫〃一二
官沢　矢吹さおり〃堅寿
大竹　高杉　宏幸〃晃
新宿　湯坐　泉〃清
真坂　湯坐美知男〃武
岫長　北条　文男〃正敏

九月
戸倉　関根　孝雄〃孝之助

おくやみ

		年	世帯主
八月	山口	小林くスエ	71 勇
	反田	船木　嘉市	85 正衛
	広畑	長久保ハル	49 久義
	鍬木田	神原　義満	75 チヨノ
九月	沼野沢	水野　薫	64 啓
	青生野	岡部　喜由	64 喜一郎
	彦次郎	赤坂　三郎	59 虎男

「消防の日」制定

鮫川村消防団では、昭和四十二年十月三日未明に発生した、渡瀬小中学校火災の日を「消防の日」と定め、二度と災害を起さぬようお互に戒しめ合うため、毎年十月三日に消防意識を高めるにふさわしい行事を行うことにしました

今年の十月三日は、最初のことでもありますので、消防自動車並びに搭載用消防車七台により、火防啓蒙パレードを実施し、また各戸ごとに火防督励を行ないます。

災害は忘れた頃にやってくる。

火災は、一寸の油断で大事になり、又一寸の注意で必ず防げるものです。



林業教室に参加して……

第一次総合研修報告

林業教室第一次総合研修会は、九月四日から十一日までの八日間にわたり、郡山市成田にある福島県林業試験場で行われました。

林業試験場は国道四号線から長沼線に沿つて約一、五kmの地点にある木工団地の裏側に面した小高い丘の上にあり白一色の鉄筋コンクリート造りの建物です。まだ完成はしていませんか、今年の十月頃までには完成するそうです。

この研修会も今年で第六回目ですが、試験場で開催するのはこれが始めてです。

開講式には各林業事務所管内（市町村長推せん）から四十三名が参加して、試験場の研修館で行われました。初日は班の編成のみで、二日目からの授業は午前八時から午后五時まで、夜は七時から九時までスライド・映画・話し合い、十時消燈というように時間割もかなり窮屈でした。

講師は県の専門技術員の方が交替に講義や講話を行い、内容は林業施策、森林測量、苗木の作り方、材積測定、立木評価、土壌調査、林地肥培育林、挿木と接木、しいたけなめこ、くり栽培、森林病虫害防除、経営改善計画の立てかたなど、どれも林業経営に欠かすことのできないことばかりで、その他に展示林や優良農家の視察を行い、鏡石町のポプラ造林地や長沼町のくり栽培を見学しました。

夜は林業関係のスライド、映画等を鑑賞したり、仲間達と話し合いしたりで、短期間の研修ではありましたが、本当に有意義な毎日でした。

又十日の夜には全員でキャンプファイヤー、キャンドルサービスを行い、お互に再会を約束して、楽しいひとゝきを過ごしました。

今後も、現地研修や、第二次、第三次総合研修に参加して林業の知識をできるだけ学びとり地域林業発展のために尽くしたいと考えております。

（前田　武久）

町村職員対抗野球大会

町村職員の健康増進と親睦を兼ねて、例年行なわれている東白地方町村会主催の野球大会が、去る九月六日（土）郡内各町村四チームにより、鮫川村村民運動場で盛大に開催されました。

予選　棚倉町7－1矢祭町
　　塙　町4－1鮫川村
決勝　棚倉町2－0塙　町



晴れの県大会で力一杯実力を発揮した馬場チーム



馬場チームがんばれと心をこめて応援する部落の人々……

昭和四三年度決算の中から

村長　石田卯子八

昭和四三年度一般会計の決算は、去る九月一一日、一二日の監査委員による決算審査で正当と認められ、月末頃開かれる定例村議会の認定に付される予定であります。

近年は予算規模が膨大になり行政施策も複雑多面的になつていますから、取扱件数も金額も増高の一途をたどる一方です。

しかし、監査委員の例月検査が毎月確実に行われているため、誤算誤記などはその時点で発見され、訂正されますから、決算審査で係数上の誤りが出るようなことは先ず稀であるといえるようになりました。

さて昭和四三年度一般会計は

歳入二一一、八七八千余円
歳出二〇二、六〇三千余円

歳入歳出差引額

九、二七四、七二七円

となりましたが、歳入歳出差引額の内二、〇五七、四七〇円は、昭和四二年度渡瀬小学校舎建築費の繰越明許費の残額ですから、差額の七、二一七、二五七円が昭和四三年度分の残額であります。

次に歳入を一べつしますと村税の合計二〇、六七〇千余円が一〇〇%納入されており毎年のことではありますが感激を新にする次第です。

歳入の中で占める村税の比率は（九・七五%）決して高いものではありませんが、最も基本的な、最も尊い財源と考えなければなりません。

一番比率の高い地方交付税は

普通　九三、九一一千円
特交　四、七一一千円
計　九八、六二二千円

で、歳入総額の四六・五%を占めていますから、わが村の財政の半ばちかくは国から交付される地方交付税で賄われたといえるわけであります。

歳出で最も高率を占めたのは教育費で五三、一八〇千余円（二六・二%）で、これは渡瀬小学校舎建築費と、戸草分校と青生野小学校にへき地教員住宅二棟を設置した建築費を合せ二二、八六五千余円

ポンプ操法県大会終る

去る八月二十七日に、郡山市大槻にある自衛隊営庭において、県知事が統監となり盛大にポンプ操法県大会が開催されました。

出場チームは、自動車ポンプ十六チーム、可搬式動力ポンプ十六チームで、本村からは、第一分団第二班（馬場チーム）が可搬式の部に東白川代表として出場し、日頃の練磨の成果を力一杯披露しましたが、さすがに各郡を代表する強剛揃いだけに、惜しくも十一位で入賞（八位まで）を逸しました。しかし各チームとも点数差は僅少で、審査講評では消防精神が一段と高揚し、技術の練達がいちぢるしいと報告されました。

選挙管理委員会から

鮫川村選挙管理委員会は、去る九月十日役場会議室で開催、選挙人名簿に登録する者等を決定しました。

新らしく登録された方は九月一日現在満二〇年以上で鮫川村に三ヶ月以上居住し、住民登録をしている者です。新らしく有権者となつた者五九名、転入者及び今迄選挙人名簿に登録をしていない者一二七名。計一八六名

選挙人名簿登録者総数九月十日現在

男　一、九二二人
女　二、〇五九人
計　三、九八一人

選挙法の改正で、住民登録のしてない方は選挙人名簿に登録されないことになりました。住所を移動した場合は必ず役場に住民登録の手続きをして下さい。



議会だより

統合中学校道路整備に着工

第九回臨時会

八月十三日に十七名（欠員一名）の議員が出席し、会期を一日間とし次の三議案が原案どおり可決されました。

◉議案第三十七号　昭和四十四年度鮫川村一般会計補正予算（第三号）

青生野小学校火災見舞金一、一三九千円と繰越金一、一六一千円等二、五〇八千円、の財源で、青生野小学校の児童用机などの備品購入費、運動場建物等施設費に一、六〇八千円、小中学校の宿日直無人化施設に六〇〇千円等が補正されました。

第十回臨時会

九月八日に十五名の議員（欠席二名、欠員一名）が出席し、会期を一日間とし次の二議案が原案どおり可決されました。

◉議案第三十六号　昭和四十四年度鮫川村一般会計補正予算（第四号）

地方交付税八、六四一千円県支出金五五〇千円等九、二七九千円の財源で、衛生処理組合負担金五二二千円、土地改良換地技術者養成費と職員設置補助金に三一五千円、江竜田部落の共同炊事施設補助金一一三千円、青生野和牛協業組合の経営近代化施設補助金九七一千円、統合中学校の道路新設改良費等六、八三八千円、高校分校家庭科備品整備負担金二〇〇千円等が補正されました。

◉議案第三十九号　土地取得について、

統合中学校の道路新設のための用地取得で地権者九名より、山林、畑あわせて一三、七〇六㎡を一、五八八、九一〇円で村が取得しました。

◉議案第三十七号　昭和四十四年度鮫川村一般会計補正予算（第三号）

青生野小学校火災見舞金一、一三九千円と繰越金一、一六一千円等二、五〇八千円、の財源で、青生野小学校の児童用机などの備品購入費、運動場建物等施設費に一、六〇八千円、小中学校の宿日直無人化施設に六〇〇千円等が補正されました。

◉議案第三十五号　鮫川村国民健康保険税条例の一部を改正する条例

医療費の増高に伴ない毎年保険税率を改正するもので、本年は約三〇％程度の増額になりますが、年額十二万円以下の低所得者等は減税されます。

◉議案第三十六号　国有林野整備臨時措置法による払下林野の所有権移転について、

大字赤坂東野字遠ヶ竜と楢久保地内の国有林を払下げ、村有林になつていた林野整備臨時措置法による山林を地元民に所有権を移すものです。



例会に集つた睦会の皆さん

グループ紹介(4)

『睦会』

赤坂中野・新宿

私達のグループ睦会は、昭和三十六年十一月に結成致しました。この会もかれこれ八年目を迎える訳ですが、私達会員でさえ、よく続けられたものだと驚いております。

この会を始めたきつかけは当時、公民館の主事をして居られました、鈴木一さんより十六ミリで他のグループ活動の映画を見せていただき、その年に、「私達もやつてみよう」そんな意見と共に活動を開始した訳です。毎月一回前日に会の予告をし、夜の二時間を集いの時間にしております。時には、村長さんのお話を聞き、寺の和尚さんのお話しやら、活花、料理の講習古物の更生などには大池タカヨさんにお習いし、さらに民謡も習い楽しむ時もあります当時私達グループには、三年間も名前がなく、村長さんをお招きの時に村長さんから「睦会」と云う名前を付けて載きました。

私達睦会は毎月貯金をして、其の中から、会の活動に利用し、又年に一度の研修旅行なども して居ります。

私達会の資金としては、空ビン一本、ぞうきん一枚から始めたのです。

私たち睦会一同は、このような事をくり返し、毎月一回の集りを楽しみに、日常の仕事にせい出して居ります。

（会長矢内かほる）

盛会だつた敬老行事

お年寄りを慰める今年の敬老会は、九月十五日の敬老の日より一足早く、九月十三日鮫中体育館に七十才以上の高令者四百三名を招待して開催されました。

石田村長からお祝のあいさつがあり、八十才以上の高令者九十六名に村長からそれぞれ記念品が贈られました。

次いで満八十五才以上のお年寄りに県知事から賀寿状と敬老年金が贈られました後、県知事代理芳賀村議会議長等が長寿のお祝いをのべ、高令者を代表して矢吹長逸さんが、「私達は一般に社会的経済的、肉体的に弱い立場にあります。皆様方の温かい愛情と御理解をいただき、私達自らも生活の向上や幸福の追求に努める意欲を高めるよう努力してゆきたい」と謝辞をのべました。



このあと東京双葉会主演の慰安演芸に移り、笑えのうちに時の立つのも忘れ、最良の一日を楽しく過しました。

鮫川史(12)

地名から見る荘園の地と大石草五輪塔の推理

国島義広

推理を史とすることは出来ないが、過去の不明を明かにし将来に伝えるは考古学の意義であり、又責任でもある。

鮫川の地は一栄一枯、変遷も常無き地であつた。例いば石井草、大石草其の他草を冠する地は大抵その昔を荘園の私有地である。

棚倉町に庄司ノ草、漆ノ草と云う地名あり、これは藤原時代（平安から室町）に荘園の地で、鮫川の各所にもそれが見られる。東野の七草然りである。伝説や推理は史でないが、棚倉町の庄司ノ草は古くから文献に証されている。（陸奥国白川郡、又は高野郡笹原の庄、赤坂郷と云つた。「国井一良氏言」）

其の頃赤坂氏は荘園の庄司か興らきたと推察される。

江戸時代（明治維新前まで）には五輪碑は庶民は法度である。寛永三年は徳川三代将軍家光の代で、赤坂下総守常貞が秋田国替の直後であるから其の子常久が祖先の住んだ荘園の地に落ち、農人となり没して道来禅定門とし五輪碑を建つ。戒名に禅定門は少し疑う点もあるが土着した故である。然し俗人では五輪碑は法度であつたから、別人とすれば僧侶か神官であるまいかなお此の地方に類似の碑もあるが何かの供養塔で、官代の四基は何れも無名で信仰上の碑である。

将来何かの機会に之れを裏付ける証が出れば史と認むる事も可能で勿論文化財である。

赤坂氏は庄司より起きて、赤坂三千石を領して赤坂館を管し、慶長五年十月二十日、水戸公佐竹義宣の秋田国替と同時に赤坂館を去り、子孫はこの地に落ち大石草に帰農せしにあらずや。後考に待つのみ。なお長遠寺に行き戒名や没年を調べたが、寛文五年（約三百年）以前の記録全く無く、誰の碑であるや不明で残念である。長音寺過去帳は寛文五年以前は不明であるのを見れば、寺の開基も此の時代ではあるまいか。

「註」

荘園とは室町以前（約六百年以前）に貴族が私有地を有し、家の子郎党数百人を使役して大農を営み、又農地を地方農民に貸し、多額の料金を得て大地主的存在で、武士の起りは荘園からである。又武士に劣らぬ勢力があつた。

一例を挙げれば文治五年（約八百年前）信夫の庄司佐藤基治は、源頼朝の大軍と一戦を交い、畠山重忠の下知する大軍に抗しきれず云々とあり（平泉軍記より）、依りて庄司の勢い推して知るべきである。

（末　完）

×　×　×

筆者が大石草の地形を探り部落に二基の五輪塔を見る。碑銘に道来禅定門（戒名）、寛永三年卯十月五日と刻まれてあり、（約三百五十年前）並ぶ他の一基には妙塔禅定門（戒名）寛文三年卯十月五日と読まる。年代は変れども、同年同月同日然かも卯年の没年とは奇しきものがあり、偶然の一致とも云うべし。

この碑より少し離れて、通称に御前様と云う塞に、数万貫もあらんと思う巨石と、小さな祠がある。大石草の地名はこれより出たとの説あり。

期待される後継者をめざして
勤労青年学園の近況

勤労青年学園は、将来の鮫川村をになう青年を育成することを目的に、本年四月開校しました。

四十四名（男二十八名、女十六名）の生徒が、毎月二回行なわれる講義に、実習に、レクリエーションに、愉快に励んでいます。

現在までの活動状況をみると、四月は開校式、五月は東白川農業改良普及所長上野一二先生の農業の講義。六月は西白河郡大信村で営農のかたわら、四度にわたってアメリカ農業を視察した滿山喜和先生の農業講演と、キウリ、トマトのハウス栽培に成功しているいわき市の農家を視察しました。

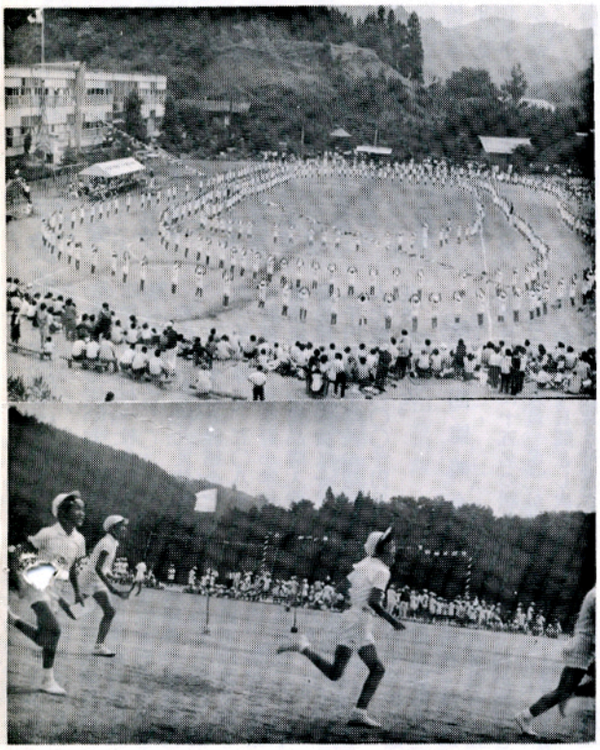
七月は初めての宿泊研修を公民館で試み、石田村長、杉山公民館運営審議会委員の講演を聞き、農業や人生、恋愛などについて、夜更けまで語り合いました。八月は郡内青年学級生などと一緒に猪苗代町にある高冷地試験場の視察と磐梯山登山をしました。

八月二十九日は渡瀬にある江竜田の滝が、明媚な風光にもかかわらず、埋もれているのを惜しみ、折から、滝までの道路整備に励んでいた地元の方々のお手伝をし、終って芋煮会を楽しみました。

九月は、農業実習として、滝ノ下の蛭田武彦氏の山林開墾草地の造成と肥料撒布作業に汗を流し、午後は、東白川地方花嫁教室生と交歓会を行ないました。

また、男子生徒は、野球チーム「学園チーム」を結成して村野球大会に出場しましたが、春季大会は鮫高チームに五対一、秋季大会は中野クラブに十六対零でそれぞれ完敗しましたが、今後の奮闘を誓い合いました。

※これから入校を希望される方は、公民館に電話でも結構ですから御連絡ください。



天高く馬肥ゆるスポーツの秋9月7日に行われた鮫小の運動会スナップ

学習の広場

小さな社会
それが家庭です
すてきな社会
それが家庭です
親はその中で
愛情の肌でのみ
はぐくむことを考へ
子どもをそっと
つき離すコトを
忘れがちになるのです
ひとつ屋根の下で
規と子が
どのように結び合い
受けとめ合ったらよいか
わたしは
こう思います
あなたは
どう思いますか

室庭教育学級は
あなたに
語りかける広場です
あなたと共に
考える広場です
あなたの働きかけを
期待する広場です
家庭教育専門家
それは、あなたです

「子どもの躾について、主人と意見のくいちがいがあって悩んでいます……」

「二才になる男の子ですが口がまるできけないのですが……」

「小学三年になる女の子です。何をやらせてもグズで困っています……」

「中学二年になる長男が急に反抗的になり、どう扱ってよいか迷っています。主人が叱っても聞きません……」

父親不在の家庭教育
権威を失った家庭教育
家庭は戦前にくらべてどこが、どのように変わったのでしょうか
母子家庭
共稼ぎ家庭
自分の家庭にあてはめてみんなで学習してほしいのです



交通違反!! 交通事故は絶対撲滅しましょう!!

交通違反は、交通事故につながります。また、交通違反をかさねると点数制度によって運転免許を取り消されたり、停止されることになります、運転手は必ず交通法規を守って下さい。

○全国の運転者の交通違反や交通事故は、警察庁の電子計算機に記録されております
○交通違反には、次表の違反点数がつけられます。

	交通違反の種類	点数
	酒酔い運転	9
	酒気帯び◎印違反	9
◎	無免許運転	8
◎	大型自動車無資格運転	8
	酒気帯び○印違反	7
	酒気帯び運転	6
	過労運転等	6
◎	速度超過 25km以上	6
○	速度超過 20km以上25km未満	2
○	速度超過 20km未満	1
○	信号無視	2
○	通行禁止制限	2
○	通行区分違反	2
○	法定横断等禁止違反	2
○	追越し違反	2
○	路面電車後方不停止	2
○	踏切不停止等	2
○	しや断踏切立入り	2
○	横断歩行者妨害等	2
○	除行場所違反	2
○	指定場所一時不停止	2
○	積載重量超過 5割以上	2
○	積載重量超過 5割未満	1
○	整備不良 制動装置等	2
○	整備不良 尾燈等	1
○	安全運転義務違反	2
○	幼児等通行妨害	2

	交通違反の種類	点数
○	安全地帯除行違反	2
○	免許条件違反	2
○	右横断方法違反	1
○	右横断合図車違反	1
○	指定横断等禁止違反	1
○	車間距離不保持	1
○	追いつかれた車両の義務違反	1
○	割込み等	1
○	右・左折方法違反	1
○	右・左折合図車妨害	1
○	交差点優先車妨害	1
○	緊急車妨害等	1
	駐停車違反	1
	無燈火	1
	減光等義務違反	1
	合図不履行	1
	警音器吹鳴義務違反	1
○	乗車積載方法違反	1
○	定員外乗車	1
○	積載容量超過	1
○	けん引違反	1
	原付けん引違反	1
○	装置不良	1
	停止措置義務違反	1
	最低速度違反	1
○	仮免許運転違反	1

○交通違反をして交通事故を起こすと、さらに次表の事故点数が加算されます。

交通事故の種別	責任の種別	点数
死亡事故	もつぱら加害者の不注意によるとき	13
	相手方にも不注意があつたとき	9
重傷事故（治療期間30日以上）	もつぱら加害者の不注意によるとき	9
	相手方にも不注意があつたとき	6
軽傷事故（治療30日未満）建造物損壊事故	もつぱら加害者の不注意によるとき	6
	相手方にも不注意があつたとき	4

○ひき逃げ事故やあて逃げ事故を起こすと（違反点数＋事故点数）に、さらに下記の点数が加算されます。

ひき逃げ（人身事故）は10点　　あて逃げ（物損事故）は5点



いわき市渡辺町の高木剛氏にキウリのハウス栽培の秘訣を聞く学園生